

この通信はダスキンを通してご縁があった方に差し上げているFAX通信です。出会いに感謝、素敵な笑顔を文字に！！(^o^)



たのうえ通信

2019年3月号
(年7回発行:次号5月)

ご意見、ご要望、ご相談など、何なりと下記までお問い合わせ下さいませ。

TEL:080-3319-9426 FAX:048-933-7137 E-mail:s_tanoue@duskin-souka.com

DUSKIN
喜びのタネをまこころ

〈介護福祉、高齢化に学ぶ！〉

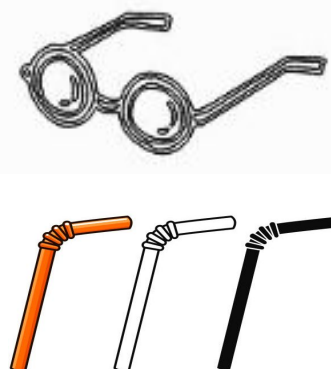
いつも大変お世話になっております。『お掃除は“思いやりの形”』をモットーに活動しているダスキンの田上です。今月も元気に2019年3月号のFAX通信をお送り致します。\\(^_^)/

先日、介護福祉や介護保険制度、福祉用具について深く学ぶ機会がございました。昨今、身近な問題ではあるものの、なかなか詳しく知る機会もなく、また興味も薄かったので、今回学べたことはとてもとても勉強になりました。高齢化の進行具合を示す言葉として『高齢化社会』『高齢社会』『超高齢社会』という言葉が段階別にございます。

国家が決めた基準は、65歳以上の人口が全人口に対して7%を超えると『高齢化社会』、14%を超えると『高齢社会』、21%を超えると『超高齢社会』とのことでした。ではここで質問ですが、現状日本の高齢化問題がささやかれ始めた『高齢化社会』(65歳以上が全人口の7%)は、今から何年前に始まったかご存知ですか！？



(私の想像(2005年位かなー)をはるかに超えていました)実は今から48年前の1970年に65歳以上が全人口の7%を超えていたのです。そこから25年後の1995年には14%を超え、その15年後の2010年には21%を超え、今では25%を超えて、日本の4人に1人が65歳以上という『超高齢社会』になっています。2030年には3人に1人が65歳以上になるだろうと言われています。私自身こんな事実にととてもとても驚きました。



また福祉用具の概念も大きく変わりました。福祉用具と聞くと車椅子や介護用ベッドを想像していましたが、もっともっと身近なものも福祉用具であることを教えて頂きました。例えば、今では一般的にある眼鏡やライター、ストローなども元々は福祉用具が始まりだったそうです。これからの時代は、スマホやタブレット(振動や表現が豊富)も福祉用具として必要なモノとされているそうです。100の我慢のうち1つでも解決してあげる。福祉用具の考え方が大きく変わりました。

つばやき...今年も桜の季節になりました！毎年必ず咲きますね！凄いことです。自然の大きさを感じます(^_^)

マイプロフィール:統括責任者。熊本出身の三郷市在中。スポーツや企業の成長ストーリーが大好き。スポーツ指導者が夢の一つ。仕事のモットーは快適な職場作り(お客様目線、スタッフ様目線)のご提案。

□ FAX通信ご不用の方はチェックを入れてこのままご返信下さいませ。FAX:048-933-7137